

(単位:億円)

コンシューマー食品 合計	FY16 予想	FY15 実績	差額
売上高	8,786	8,609	176
日本食品	4,118	3,970	147
調味料・加工食品	2,038	1,982	56
冷凍食品(日本)	990	929	60
コーヒー類	1,089	1,058	30
海外食品	4,668	4,639	28
調味料・加工食品	2,917	2,803	114
冷凍食品(海外)	1,066	1,055	10
加工用うま味調味料・甘味料	683	780	▲96
営業利益	766	725	40
日本食品	352	306	45
調味料・加工食品		321	約15
冷凍食品(日本)		40	約15
コーヒー類		42	約15
全社共通費	▲101	▲98	▲2
海外食品	414	419	▲5
調味料・加工食品			8
冷凍食品(海外)		26	0
加工用うま味調味料・甘味料			▲10
全社共通費	▲145	▲141	▲3

FY15 9M実績	FY15 1H実績	FY15 1Q実績	FY14 実績	FY13 実績
6,577	4,254	2,100	6,760	6,190
3,031	1,910	928	2,919	2,892
1,496	942	449	1,914	1,913
707	458	221	928	899
827	509	256	76	80
3,546	2,344	1,172	3,841	3,297
2,150	1,426	719	2,725	2,409
807	520	250	327	138
589	397	202	788	749
614	350	162	560	505
261	118	54	240	253
244	131	58	281	287
30	13	3	33	37
57	20	15	1	▲1
▲70	▲46	▲23	▲75	▲69
352	231	107	319	251
▲105	▲69	▲37	▲127	▲104

対前年 増減要因または主要施策
【日本食品】 調味料・加工食品は家庭用は主要商品の拡大、業務用は機能型食品の伸長等で増収を見込む。 冷凍食品はコアアイテム・カテゴリーへの集中や新製品の育成強化等により増収を見込む。 コーヒー類はギフト事業統合、スティックを中心としたパーソナル領域および業務用事業の拡大等により増収を見込む。
【海外食品】 調味料・加工食品は「味の素®」、風味調味料を中心にトップラインを拡大し増収を見込む。 冷凍食品は味の素ウインザー社の事業構造強化を進めるが、為替影響等もあり、前年並みを見込む。 加工用うま味調味料、甘味料ともに為替影響等により減収を見込む。 (参考)FY16予想:加工用うま味調味料 517、FY15実績:加工用うま味調味料 552
【日本食品】 調味料・加工食品は家庭用、業務用商品の売上増加等により増益を見込む。 冷凍食品は売上増加と収益構造の継続強化等により増益を見込む。 コーヒー類は売上拡大等により増益を見込む。
【海外食品】 調味料・加工食品は現地通貨ベースでの2桁成長と各法人の事業構造強化等より、増益を見込む。 冷凍食品は味の素ウインザー社をはじめとした各法人の事業構造強化を進めるが、為替影響等もあり、前年並みを見込む。 加工用うま味調味料・甘味料は、円高のマイナス影響等により減益を見込む。 (参考)▲10億円減益予想の内、加工用うま味調味料で▲10億円

アミノサイエンス 合計	FY16 予想	FY15 実績	差額
売上高	2,432	2,320	111
ライフサポート	1,452	1,424	27
動物栄養	996	949	46
化成品		432	約10
その他		41	▲約30
ヘルスケア	980	895	84
アミノ酸		736	約50
医薬用・食品用アミノ酸		約360	
製薬カスタムサービス		約380	
その他		159	約35
営業利益	175	175	▲0
ライフサポート	117	118	▲1
動物栄養	65	55	9
化成品		103	▲約5
その他		▲3	▲約5
全社共通費	▲37	▲36	▲0
ヘルスケア	58	57	0
アミノ酸		91	▲約0
医薬用・食品用アミノ酸			
製薬カスタムサービス			
その他		▲5	約5
全社共通費	▲32	▲28	▲3

FY15 9M実績	FY15 1H実績	FY15 1Q実績	FY14 実績	FY13 実績
1,753	1,192	596	2,275	2,165
1,106	744	376	1,491	1,424
751	510	262	1,027	941
326	215	104	426	430
29	18	9	37	52
646	447	219	783	741
522	362	178	658	621
約275	約185	約95	約350	約320
約245	約175	約80	約305	約300
124	84	41	125	120
154	115	64	160	63
108	83	46	145	42
55	52	29	88	2
81	52	26	103	92
▲2	▲1	0	▲3	▲15
▲26	▲20	▲10	▲42	▲38
46	32	18	14	20
66	45	22	71	58
1	▲0	2	▲31	▲10
▲20	▲12	▲6	▲30	▲26

対前年 増減要因または主要施策
【ライフサポート】 動物栄養はトリプトファンおよびスペシヤリティ製品の拡大により増収を見込む。 化成品は香粧品の拡売とケミカルの新規用途拡大等により増収を見込む。
【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸は販売数量増加や培地の拡売により増収を見込む。 製薬カスタムサービスは北米事業が牽引し増収を見込む。 その他はダイレクトマーケティング事業、スポーツニュートリション事業の伸長により増収を見込む。
【ライフサポート】 動物栄養はスペシヤリティ製品の拡大等により増益を見込む。 化成品は増収も、円高のマイナス影響により減益を見込む。
【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸は前年並み、製薬カスタムサービスは減益を見込む。 その他はダイレクトマーケティング事業、スポーツニュートリション事業の伸長やコストダウン等により増益を見込む。

その他	FY16 予想	FY15 実績	差額
売上高	642	911	▲269
営業利益	▲31	7	▲38
全社共通費	▲34	▲35	0

FY15 9M実績	FY15 1H実績	FY15 1Q実績	FY14 実績	FY13 実績
694	448	222	1,030	1,157
20	6	4	24	49
▲24	▲16	▲8	▲43	▲42

対前年 増減要因または主要施策
主に、当社に残る医薬事業の一部の業績を計上することにより減益を見込む。

総合計	FY16 予想	FY15 実績	差額
売上高	11,860	11,841	19
営業利益	910	908	1

FY15 9M実績	FY15 1H実績	FY15 1Q実績	FY14 実績	FY13 実績
9,026	5,895	2,918	10,066	9,513
789	472	231	745	618

対前年 増減要因または主要施策

表示上の注意: 非開示
約** 概算値

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
・本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
・本資料の金額は、切り捨てて表示しております。